

創設40周年を迎えるにあたり

だってどの子も

可愛いじゃない

本部長 筒井 久美子

昭和三十七年日本体育協会五十周年記念事業の一環として、日本スポーツ少年団が創設され、その翌年県本部と並行して仙台市本部が設置されました。

平成十八年度には、仙台市も四十周年を迎えますが、スポーツ少年団創設の理念、目的は当初と今も変わることはありません。

少子化という社会現象の中、子供たちのスポーツに対する関心が薄れ、又育成母集団の考え方が、当初の理念から少しずつ変化してきているように思われます。今、子供たちを取りまく環境もめまぐるしく変わり、様々な犯罪に悩まされ大きな社会問題になっております。

仙台市スポーツ少年団も四十周年を迎える節目に私達指導者と団を支えて下さる育成母集団の皆様ともう一度考えてみ

朝風

第11号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 (有) 仙南印刷



SENDAI

(平成16年度)

団員数	299名
指導者	8,009名
指導者	1,438名



白老にて

ります。少年期の発育発達を促進し、健康上必要な身体運動の場としてだけでなく、人間生活の全てにわたる、知的・道徳的・社会文化的とも連携した活動です。

勝利至上主義、勝つ事ばかり目的とした指導や活動が、時には自己中心的な人間づくりの場となってしまう。今、指導育成にたずさわる方々の教育の配慮が求められるところです。

たいと思っています。スポーツ少年団の目的は「スポーツを通じた教育」です。少年少女たちを立派な社会人に育てる、人間形成の場でもあ

少年期にスポーツの楽しさ、喜びを体験し「生涯スポーツとして」いつでも、どこでも楽しめるスポーツ。運動不足による健康体力の低下になる事なく高齢者になるまで楽しめる「みんなのスポーツ」「総合型スポーツクラブ」を地域に根強いクラブとして創設当初からの目的としています。

仙台市スポーツ少年団では、各競技種目部会、各区スポーツ少年団共に交流大会を持ち、多くの仲間と出会い友情を深めています。本部事業と致しましても入団式と交流会、ジュニアリーダースクール、冬のつどいボウリング大会などの事業を行っております。歴史姉妹都市北海道白老町スポーツ少年団との交流も二十年目を迎えるようしております。

十七年度は、仙台市が受け入れとなり、競技種目を越えたすばらしい思い出と深い交流を今から楽しみにしております。

県スポーツ少年団では、県内八地区連絡協議会がありまして、日独スポーツ少年団同時交流会を、持ち廻りで開催しております。十七年度は八年に一度の仙台市スポーツ少年団が、受け入れ担当になります。本部役員達は嬉しい期待感と、緊張感で一杯です。最後に、純粋な子供たちの心、キラキラと輝く澄んだ瞳を、いつまでも輝かせてやりたい、いっそう心ゆたかに成長させてやりたい願い、私達指導者や育成母集団、ご父兄の皆様と共に一丸となって努力していきたいと思っております。

「だってどの子も可愛いじゃない」を合言葉に楽しい仙台市スポーツ少年団になるよう、皆様のご理解とご協力を、重ねてお願い致します。

入団式

平成16年度の入団式 2,700人が集う！

四月十七日(土)に仙台市スポーツ少年団の入団式がシェルクムセんだいで盛大に開催されました。

スポーツ少年団活動の幕開けとして大きな盛り上がりを見せ、今年度は団員一、九二四名、指導者七二三名の参加がありました。

式は各団のブラカードを先頭に一斉行進で始まり、ユニフォーム姿の団員たちは、少し緊張の面持ちながら堂々と入場し、これからの大きな活躍を予感させました。

来賓には仙台市体育協会・伊藤孝夫会長をはじめ市役所、各関係団体から多くの方にご参列をいただき、代表して仙台市議会議員西沢ひろふみ様よりご祝辞をいただきました。続いて、平成十六年度各団において優秀な成績を修めた団員に対し、表彰状・メダルが授与され、会場からの大きな拍手でお祝いムードに包まれ、優秀団員たちの誇らしげな表情が印象に残りました。次に、新規加入団に対して



入 団 式

の団旗の贈呈式があり、新たに仲間入りした十四団に対し筒井本部長より認定証と団旗が贈呈されました。(新規団名は後記)

式典終了後にはリーダーたちによる各種ゲーム大会が行なわれ、競技種目を越えた団員たちの交流が図られ親睦を大いに深めました。

来年度以降も、この入団式への参加団が増えることを願い、各団のご協力をお願いいたします。

〈列席された来賓〉

泉区体育協会会長 小野 隆 様
宮城野区体育協会会長 池 田 友 信 様
仙台市スポーツ振興事業団理事長 後 藤 健 三 様

新友に多くの仲間が加入

新規入団

- 1 若連坊ジャスティス
- 2 宮高砂クラブ
- 3 泉北中山メイツ
- 4 太八木ジュニアバレーボール
- 5 宮中野柔道教室
- 6 青FCジュネス・サッカー
- 7 宮鶴ヶ谷空手道誠真会
- 8 宮宮城野YC
- 9 若蒲町中バスケットボール部
- 10 青仙台市立第一中学校バスケットボール
- 11 青空手道季練会吉成道場
- 12 青仙台市立第一中学校バスケットボール
- 13 青吉成バスケットボール
- 14 宮中野バレーボール

SHIPS

スポーツ少年団のニックネーム

「SHIPS」は、Sportsmanship, Friendship, Leadership, Membershipのshipを意味し、スポーツの集合体という大きな船を表しています。



JUNIOR SPORTS CLUB

ジュニアリーダーズスクール

— これから

ぼくたち、私たちは

リーダーに —

八月二十日(金)～二十二日(日)の二泊三日の日程で仙台市スポーツ少年団のジュニア・リーダーズスクールが宮城県泉ヶ岳青年の家で行なわれました。このスクールの参加対象は、五年生以上中学生までの二年以上の活動歴がある団員となっており、将来のリーダーや指導者を育成することが主目的のスクーリングです。

今回は、団員二十六名の参加に、リーダー九名、指導者七名で天候にも恵まれた受講風景でした。団員達は、班活動を通して役割を決め各自の意識を高めながら活動していました。

内容は講話・レクリエーション・体力測定・創作活動でした。

今回は班ごとに手づくりの旗を作成しました。スポーツ少年団のリーダーとは何か、望ましいリーダー像、役割やルールとマナー。自分の不足なところをみつめる。リーダー側は判断力や待つこと。団員の手本になれるように率先して活動を行うことと相手の目線に立つこと。思いやりの心を持って接することを学ばされているようである。



各班ごとに
手作りの旗を作り
結束を強くした！



何はともあれ
食事が一番楽しいね！



お手伝い
してくれた
リーダーの
皆さん

身近な広報を目ざし

仙台市スポーツ少年団の

ホームページを開設致します

仙台市スポーツ少年団では、ホームページを開設することと致しました。開設されるホームページの内容は、

- ① スポーツ少年団とは？
- ② スポーツ少年団の登録について
- ③ 仙台市スポーツ少年団登録団の一覧(区、種目ごと)
- ④ 今年度の本部事業計画
- ⑤ 本部事業の活動報告ニュース
- ⑥ 本部組織図、役員一覧
- ⑦ 本部規定
- ⑧ 広報紙「朝風」のバックナンバー
- ⑨ 役員の皆様への会議案内
- ⑩ 各種リンク一覧

日本スポーツ少年団
宮城県体育協会
仙台市スポーツ振興事業団
単位団等々

皆様の身近な情報も本ホームページに掲載していきたいと考えておりますので、ぜひ、種目毎の大会などの結果や写真等を仙台市スポーツ少年団の広報委員会までご送付ください。

皆さんの団も紹介していきますのでぜひ写真と記事を広報委員会まで。

【送付先】

仙台市青葉区国分町三十一
NPO法人仙台市スポーツ連盟事務局
仙台市スポーツ少年団広報委員会

白老交流の思い出

第十八回仙台市・白老町スポーツ少年団交流会が七月二十九日～八月一日に、白老町に於いて行なわれました。仙台市から過去最大となった遠征団は、七月二十九日夜、期待で胸を膨らませながら、仙台港からフェリーで一路苦小牧港に向けて出発しました。接近中の台風の影響で海は大荒れでしたが、宮城県沖を通過すると次第に穏やかになり、一転して快適な船旅になりました。

白老町に到着直後の歓迎式では、白老町の町制五十周年を記念し、筒井本部長から、ふるさと体験館「森野」の看板が、白老町スポーツ少年団の伊藤本部長に手渡されました。式終了後、仙台藩白老資料館とアイヌ民族博物館を見学し、姉妹都市と北海道の歴史を認識することができました。

白老町二日目は、白老町宮野球場での総合開会式の後、各部ごとに会場を移し、試合や練習会などで交流を深めました。

最終日は、大倉山ジャンプ台と、札幌市内を見学し昼食会場となった札幌ビール園では、ジンギスカンを心行くまで堪能しました。

今回は、初めて白老町を訪れた指導者、団員も多く、白老の方々の温かい人情に感激しながら、交流の大切さを再認識しました。千歳空港では、見送りに駆け付けてくれた、白老の団員や父兄の方々と別れを惜しみ、帰仙の途につきました。

では、初めて遠征に参加したサッカー部会の思い出をご紹介します。

しらおい町に行った思い出

南小泉サッカー三年 斉 藤 和 也

僕は、しらおい町に船で行きました。船では、色々な人たちと友達になりました。そして次の日には、しらおい町の人たちと友達になりました。ホームステイ先のみずき君の家で、一日泊まりました。みずき君と、みずき君の弟ともいっぱいあそびました。次の日は、いよいよサッカーです。サッカーのフットサルの試合は、全部勝ちました。とてもうれしかったです。そして、サッカーが終わると、みんなで温せんに行きました。温せんからあがると、かき氷を食べました。最後の日に、みんなとおわかれをしました。とてもいい思い出でした。

しらおい町の思い出

南小泉サッカー三年 佐 藤 準

まちにまった北海道。まずはじめに船にのりました。船の中は、広くてまいごになりそうでした。ぐあいがわるくなりましたが、おんせんに入ったらなりました。



そして、ねるじゅんびをして、ワンピースという映画を見ました。それを見ていたらねわれませんでした。二日目の朝、まちにまった北海道に着きました。そしてホームステイをするふくいさんに会いました。ふくいさんのおうちは、でかくて家ぞくがいっぱいいました。夜に花火をしたことが思い出です。つぎの日、サッカーの試合をしました。何試合かやって、ぼくが二点決めました。帰りは、ひこうきで帰ってきました。かんとくにもお世話になり、ありがとうございました。たのしいホームステイでした。

楽しい今年の夏

南小泉サッカー三年 鈴木 翔 汰

ぼくの今年の夏休みは、すごくいい思い出をしました。サッカーチームの三年生六人で、北海道に行くことになり、すごく楽しかったです。まずはじめに、大きな船に乗り、お風呂に入り、大広間で、みんなとねました。船よいした人もいました。北海道について、初めて会った人の家にとまるので、ぼくはきんちょうしたけど、すぐお友だちになってごはんを食べたり、夜に花火をしてとても楽しかったです。次の日サッ



カーの試合は、なんとぜんぶ勝ちました。すごうれしかったです。ジンギスカンやビール工場やスキーのジャンプ台など、いろんな所を見ました。帰りはひこうきに乘れてよかったです。

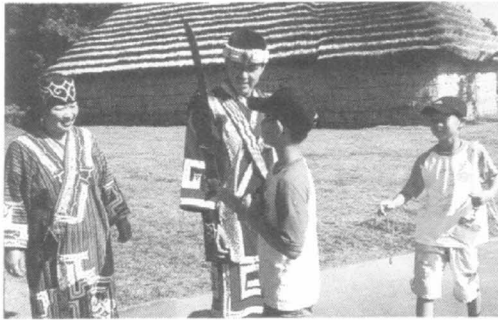
とめてもらった人の名前は、みずき君です。次の日サッカーの試合をして、全勝しました。うれしかったです。それからちせに行きました。夜は、木でできた家でねることになっていました。そのちせで、色々な人と会い、友達になりました。最後の日の朝食をとって、くうこうに行きました。ひこうきのり、仙台に帰ってきました。また北海道にいきたいと思ったぐらい楽しかったです。

北海道のりょうこうをふりかえって

南小泉サッカー 三年 中 村

峻

思い出にのこったのは、三つあります。まず一つは試合です。ほんとうは、白老の大頭こう君とたたかいたかったけど、人数がたりなかったの



で、試合できないよりはましだと思いました。それにみんながんばってくれたから、強いあいてにも勝てたと思います。一番いやだった場面は、しょう

たがキーパーのときにねてしまっ、しんぱんにおこられた所です。しゅうちゅうしてやらないと、点をとられてしまいます。でも、一点もはいらなくてあんしんしました。でも試合のときは、ナイスセーブしていましたけど。二つ目は、船のことです。

おみやげをいっぱいかって、かぞくにあげようと思ったんですが、あまりつかわなかったの、おこずかいもらっちゃいました。三つ目は、大頭こう君のことで



す。さいしょに行ったときから、チームメイトのつばさもばくも、すぐなかよしになっていっしょにあそびました。こう君のお母さんには、服をあらってもらってとてもかんしゃしています。さいごにとった一まいのしゃしんを見ると、こう君のことが思いうかびます。帰るときに、「またらいねんきてね。」といわれてやくそくしました。またいくのがたのしみです。北海道りょうこうは、ほんとうに楽しかったです。またぜひいきたいです。

北海道の思い出

南小泉サッカー 三年 松 田

翼

ぼくは、北海道さんかのため、はじめてフェリー

に乗りました。白老町で、友だちといろんなことをしました。サッカーで白老町のチームに勝ちました。そのあとちせで、とうもろこしやすいかなど、いろんなものを食べました。夜はねぶくろでねました。朝になって、湖で水きりをしてあそびました。北海道の人とお別れの日、最後に白老町でホームステイをした友達、こう君とアイスを食べました。三日間、北海道でいろんなたいけんをして、とても楽しかったです。

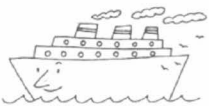
北海道の思い出

南小泉サッカー 三年 安 部 広 夢

ぼくは七月二十九日から、八月一日まで、北海道に行ってきました。まず船にのりました。船がうごきはじめて一時間ぐらいで、よってしまいました。次の日、しらおいにつきました。大きい体育館でホームステイとまる家の人に会いました。



それから車で、いどうして、公園でやき肉をたべて、その日の夜にホームステイをしました。



仙台市スポーツ少年団 看板を寄贈

白老ふるさと体験館・森野に

第2のふるさとに交流の証



仙台市スポーツ少年団から
「ふるさと体験館・森野」の看板が贈られた

姉妹都市交流で白老町を訪問した仙台市スポーツ少年団（筒井久美子本部長）から、開館したばかりのふるさと体験館『森野』に三十一日、看板が贈られた。

歴史姉妹都市の仙台と白老両市のスポーツ少年団は、子どもたちにスポーツを通して交流し、夏休みの思い出や仲間づくりのよい体験を―と相互訪問の交流事業を実施し、今年で十八回目。今回は仙台市から十五団体百七十三人とかつてない大勢が来訪、野球、サッカー、ミニバスケットな

今年六月開館したばかりで、看板は玄関に掲げられる。

伊東本部長は「立派な看板をいただき、大切にしたい」と感謝。筒井本部長は「この交流はスポーツを通した仲間づくりで、心と体を鍛える素晴らしい事業になっている。仙台の子どもたちの第二のふるさとに交流の証の看板を寄贈できてよかった」という。

—— 室蘭新聞掲載記事より ——

ど交流試合を実施した。

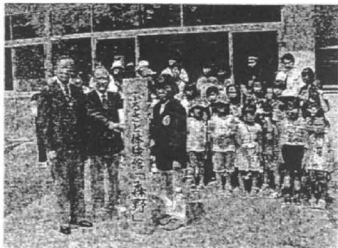
水泳、空手の選手と指導者、父母ら五十人はふるさと体験館『森野』でリーダー交流を行い、この時、仙台市の筒井本部長が看板を寄贈した。

看板はアラスカヒノキの板で縦百四十八センチ、横二十四センチ。仙台市の書家・小久雪峰さんが揮毫（きごう）した。団体体験館は旧森野小中学校校舎を再活用、

室蘭新聞より取材を受け、掲載された記事です。内容は上記の通りです。

熱烈歓迎を受け、
地元新聞に!!

仙台市スポーツ少年団 看板を寄贈 白老ふるさと体験館・森野に 第2のふるさとに交流の証



仙台市スポーツ少年団から「ふるさと体験館・森野」の看板が贈られた

し、今年で十八回目。今回は仙台市から十五団体百七十三人とかつてない大勢が来訪、野球、サッカー、ミニバスケットなど交流試合を実施した。

水泳、空手の選手と指導者、父母ら五十人はふるさと体験館『森野』でリーダー交流を行い、この時、仙台市の筒井本部長が看板を寄贈した。

看板はアラスカヒノキの板で縦百四十八センチ、横二十四センチ。仙台市の書家・小久雪峰さんが揮毫（きごう）した。団体体験館は旧森野小中学校校舎を再活用、

2004年 野球部会 大会報告

多くの感動と 想い出を有り難う！

《小学》春季・秋季・新人交流大会 《中学》前期・後期・新人交流大会



野球部会では、小学校の部と中学校の部の大会を実施している。小学校の部には、六十三団が加盟、春季・秋季・新人の交流大会を実施している。

今年は、天候には恵まれたが、学校行事に試合の日程が重なり、なかなか運営は大変、しかし、各チームの協力を経て、どうにか試合を消化した。

一方、中学の部は、十二団が加盟、なんと後期大会は、天候に恵まれず、延期、延期の連続、中学校の校庭をお借りしてどうにか試合を消化した。

小学生は、各大会毎に成長する！春季大会と秋季大会では、プレーの内容が違ふ。ピッチング、スロー

イング、キャッチング、バッティング、

全てに成長している。

そんな子ども達を見ながら目を細めているのが監督やコーチ

と親。将来に大きな期待が持てる。中学

校の大会は、スピード感のある好ゲーム

が続く一点を争う緊迫したゲームの連続

だった。後期大会では、高校受験をひかえた選手も出場していた。

この日はやはりハッラッププレー、受験でも野球で見た頑張り、発揮してほしい。野球に接する子ども達も少なくなっているが、仙台に本拠地を置く『東北楽天ゴールデンイーグルス』の効果で多くの団員が入団することを、大いに期待したい。



母集団・指導者研修会 絆は家庭で！ 野球部会

11月に、母集団指導者の研修会を開催した。講師は仙台中央警察署の生活安全課課長代理の横山笙子さんと元仙台三高監督で現在の富谷高校の監督の三浦邦夫先生にお願いした。大場さんの講義では、仙台市内での青少年の犯罪の状況や、犯罪の未然防止は、家庭からと呼びかけられた。三浦先生の講義では、監督が見てなくとも一生懸命に物事に対応する子は伸びる。手を抜く子は技術があっても、必ず、頑張っている人には負けてしまう。常日頃より、家庭での絆が大切と講義を頂いた。肝に銘じてガンバラネバ！？



《各大会の優勝チーム》

★小学の部

春季大会 大和クラブ

秋季大会 大和少年野球クラブ

新人大会 荒浜ビックウェーブ

★中学の部

前期大会 台原ボーイズ

後期大会 吉成野球

新人大会

Aブロック

宮城野野球クラブ

Bブロック

台原ボーイズ

Cブロック

蒲町中学校野球クラブ

おねがい

●各団で最低一人のジュニアリーダーを育てよう。

●ドイツスポーツ少年団の交流で今年は来仙しますので、ホームステイ提供できる方ご連絡下さい。

●白老スポーツ少年団が来仙しますのでお手伝い下さい。



決勝で指導する大和少年の稲月監督



お知らせ

平成17年度本部事業予定

入 団 式

- ・平成17年4月16日(土)
- ・シェルコムせんだい

委員総会

- ・平成17年4月23日(土)
- ・仙台市青葉体育館

日独交流会

- ・平成17年8月24日(水)～29日(月)
- ・仙台市受け入れ

仙台市・白老町スポーツ交流会

- ・平成17年7月29日(金)～31日(日)
- ・仙台市受け入れ

ジュニア・リーダースクール

- ・平成17年8月19日(金)～21日(日)
- ・宮城県泉が岳青年の家

ジュニアスポーツ・フェスティバル

- ・平成17年9月3日(土)
- ・グランディ21 他

認定員再研修会

- ・平成17年11月12日(土)
- ・仙台市青葉体育館

認定員養成講習会

- ・平成18年1月28日(土)～29日(日)
- ・仙台市体育館

平成十六年度 スポーツ少年団 認定員養成講習会

今年度の開催は、仙台市体育館研修室において、十一月二十七・二十八日両日。開講式の後、以下のカリキュラムにて行われました。

《一日目》

スポーツ少年団育成の意義と原則

講師 筒井 久美子

人間の発達と少年期の特性

講師 安中 俊作

単位スポーツ少年団の運営

講師 田原 龍子

《二日目》

少年スポーツ指導

講師 佐藤 伸光

安全のための方策

講師 安中 俊作

体力テスト

講師 大沼 良雄

研究協議

講師 筒井 久美子



講師 安中 俊作
講師 大沼 良雄
講師 筒井 久美子
講師 佐藤 伸光

“平成十七年度の入団式”

登録団みんな参加しよう



平成十六年度の第一回の広報委員会、今年度の「朝風」の編集方針を検討した結果、従来の構成を踏まえながらも、種目別・専門委員会別の行事や大会の内容を出来るだけ、多くの写真を付けながら詳細に掲載しようという編集方針をたて、常任委員会の承認を得て、本年の取材活動に入りました。

各種目、専門委員会に年間スケジュールや、取材依頼を出して頂けるよう案内も致しましたが、なかなかむずかしくて、こちらで情報を収集し突撃取材し編集したのが、今年度の「朝風」です。

時代にニーズによりホームページとかインターネットとか、情報発信受信方法はありますが、十七年度はアナログと並行ということで、本年計画を継続して、広報紙「朝風」を進めたいと思っておりますので、各位のご協力よろしくお願ひします。

平成十七年三月吉日

仙台市スポーツ少年団 広報委員会

市原 三夫・田原 龍子
土井 章由・穴戸 正明
千葉 守吉・田 尚